

テキストの読み方

聖隷クリストファー大学 学習支援室

20200708miyamae

高校と大学の教科書の違い

高 校		大 学
学校の授業専用	教科書	一般書店でも売られている学術書や入門書
学校で学習すべき内容をまとめたもの	内 容	専門的な事柄の説明や論証をしたもの
学習の到達目標		問題をより深く考えるための材料
教科書に対応して進む	授 業	教科書に対応して進むとは限らない

◆ 大学で読む文章

• 学術的な文章を自発的に読む

大学の授業は**教科書も学術書や専門分野の入門書**で、授業も教科書に対応して進むとは限らない。

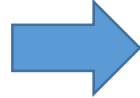
大学ではレポートを書くときや、ゼミの発表準備の為に、**学術的な文章や資料**を読む必要がある。

大学生は普段から学術的な文章を自発的に読むことが求められる。

学術的な文章は難しい??

- 学術的な文章とは? : 「論文」「専門書」「研究・調査報告書」等
- 著者の「主張」と、それを裏付ける「根拠」で成り立っている
- 一定の形式（ルール）に従って書かれているので、その形式を知っていれば難しいことではない

学術的な文章の形式は?

- 学術的文章には、研究成果を他の研究者と共有するという目的あり。
共通のルールに従って書かれていることが多い。
- その一つが、「序論」「本論」「結論」。
- この構成を意識すると著者の主張が分り易い  次頁

学術的文章の形式

- 1. 序論：**「どんな問題（問い）」について
「どんな主張（結論）」を導くのかを予告する。
- 2. 本論：**なぜその主張（結論）が導かれるのかを
「根拠」を積み重ねて説明する。
- 3. 結論：** 積み重ねた根拠から、問題に対して
どんな主張（結論）が導かれたのかをまとめる。

◆ 文章を読む姿勢

本が正しいとは限らない：

- 高校までは教科書の内容が正しいかどうか疑わなかったと思う。
- 大学では、**本の内容が正しいかどうか疑いながら読む**ことが求められる。

学術的文章は一人の筆者の意見

- 学術的文章は、筆者の研究経過や成果を記したもので、一人の**筆者（研究者）の意見（主張）に過ぎない**。
- まだ明らかな結論が出ていない問題を扱っていることもあるので、別の結論になることもある

検証しながら読む

- 学術的文章を読むときは筆者の主張を理解した上で、**その主張が妥当かどうか検証する読み方**が必要になる。

◆ 場面に応じた文章の読み方

場面に応じた3種類の読み方

1. 予習するとき：

教科書にさっと目を通す（➡ **下読み**）

2. 復習するとき：

教科書をじっくり読む（➡ **精読**）

講義で聞いたことやノートを頼りに、内容を確認し理解する。

3. レポートを書くとき：

調べたいテーマの情報を見つける（➡ **探し読み**）

レポートに役立ちそうなところが見つかったら

細かく、じっくり読む（➡ **精読**）

読み方① 下読み

文章の内容について推測しながら、まずは難しい言葉や知らない語句は後回しにして読み進める。

大体どんな話か**全体的なイメージをつかむ**。

読み方② 精読

話のまとめりごとに、「**序論→本論→結論**」という構成を意識しながら**丁寧に読む**。筆者の主張はたいてい「序論」と「結論」にあるので、特に文章の始めと終わりに注意しながら読む。

読み方③ 探し読み（スキミング）

自分が**求める情報を探しながら**、文章全体にさっと目を通し、**必要な部分だけをピックアップ**して読む。

具体的には、参考書 p.23-27参照

参考書：世界思想社編集部：大学生学びのハンドブック4訂版.2018